

新 知 人 温

Shizuoka University of Art and Culture Library News

2005.4 Vol.3

平成17年3月発行

発行所 静岡文化芸術大学 図書館・情報センター
〒430-8533 浜松市野口町1794-1
TEL(053)457-6124 FAX(053)457-6125
<http://www.suac.ac.jp/lib/index.html>

Contents:

■表紙

ベリー侯の豪華時祷書 — ①

(Les Très Riches Heures du Duc de Berry)

■巻頭言

「猿飛佐助」と 「沙漠の決闘」 — ②

静岡文化芸術大学 学長
木村 尚三郎

■図書館散歩

木のぼり男爵 — ③

静岡文化芸術大学大学院 文化政策研究科長
深井 晃子

■〈シリーズ〉

図書館・情報センターを使いこなそう! 図書館・情報センター 蔵書検索システム(OPAC)編

④

■知っていますか?こんなサービス — ⑥



ベリー侯の豪華時祷書 (Les Très Riches Heures du Duc de Berry)

レイモン・カザル著 木島俊介訳 中央公論社1969 (196.7/C 17)

フランス王シャルル五世の弟ベリー公が、ランブール兄弟に挿絵を注文し制作させた。注文主及び制作者が1416年に没したため、一時中断し、約70年後に完成をみた。15世紀写本芸術の白眉。シャンティイ城コンデ美術館所蔵。

時祷書は、ヨーロッパ中世にキリスト教平信徒のために書かれた個人用祈祷書。時祷とは毎日の定時の祈祷をいう。14～16世紀にかけて、写本、印刷本を問わず数多く作製された。

時祷書の前身として、修道院で使われる聖職者用の聖務日課書があり、それは修道院内の写字室で聖務の一つとして、修道士により作業が行われた。これに対し、時祷書は民間の写本工房で、写字者と幾人かの画家によって制作された。そのため、聖職者による制約はなく、種々の点で依頼者の意図や趣向が反映され、金銀、宝石を用いた非常に豪華なものが出現した。また、冒頭のカレンダー・ページには、祝祭日による王侯貴族の年間行事や農民の季節ごとの作業など、中世人の社会生活や日常生活、遊戯や労働などが描かれた。

掲載のカレンダー『4月』のページは、春の再来が、王子の婚約場面とともに告げられていて、季節感あふれる自然の中に、中世の一場面を生生きと描写している。

ランブール (Limbourg) 兄弟は、ポール、ヘルマン、ジャンと名乗る15世紀前半ネーデルランドのフランコ・フラマン派の画家3兄弟。

・「世界大百科事典」平凡社1988 (031/Se 22) より引用・加筆



静岡文化芸術大学 学長
木村 尚三郎
Kimura Shosaburo

文中に登場した図書

Walter Scott 著
The talisman
(タリズマン)
933/Sc1

Walter Scott 著
Ivanhoe
(アイヴァンホー)
933/Sc1

スコット著／菊池武一訳
アイヴァンホー
081/Iw51/219-1,2

Walter Scott 著
The lady of the lake
938/Ke45/76

スコット著／入江直祐訳
湖の麗人
081/Iw51/219-6

マルク・ブロック著／讀井鉄男訳
歴史のための弁明
ー歴史家の仕事
201/B58

「猿飛佐助」と「沙漠の決闘」

戦争末期に「学徒動員」で、東京・中野の電気工場で働いていた。中学二年生から三年生（1944～1945年）のことである。中学校がまるごと工場に移動したようなもので、ちゃんと先生の引率・監督のもとに、であった。肝心なときに学校の勉強ができなかったと文句をいう同世代もいるが、私はうれしかった。初めて工場に行ったとき、「今日から英語の勉強をしなくて済む」と思って、ワクワクしたのを今もはっきり覚えている。

与えられた仕事は、軍用の「超短波中継用送受信機」の組立てであった。今でいえば、FM電波中継機である。トランジスターのない時代であったから、中学生が両手を拡げてやっと届くくらい大きなシャーシ（製品型枠）を、中学生が一人一台ずつ担当していた。電気ゴテによるハンダづけの操作を誤って、シュッと煙が出て指先を焦がすのは、しょっちゅうだった。今でもオーディオが趣味なのは、このときの影響であろう。

工場は、私にとっての天国であった。何しろ当時としては最先端のハイテク技術であったが、戦争末期のこととて、部品がやってこない。仕事にならず、工場の裏で日なたぼっこをしながら、厚い忍者ものの講談本を読みふけった。講談師が忍者「猿飛佐助」だの「霧隠才蔵」だのを語ったのを、そのまま本にしたものである。厚さが5～6センチもある、分厚い大型本であった。これが、面白くて仕方がない。見る見るうちに読み進んでしまい、「もう少ししか残りがいない」のが、惜しくて仕方がなかった。

フランス語で「イストワール」、イタリア語で「ストリア」といえば、「物語り」と「歴史」の、両方の意味がある。物語性・ストーリー性こそが、歴史（ヒストリー）の本質である。14、15歳のときに工場で読みふけった講談本には、みごとな物語性があった。今から考えると、私が歴史の道を志したそもそもの出発は、ここにあったといってもいいように思う。

その後、中継機は未完成のまま終戦となってしまった。終戦直後は粗悪な、ザラザラ紙の本が出廻った。それが売れ残って、ゾッキ本という投げ売りの形で、古本屋の店頭に放り出される。今はもうボロボロになってしまったけれども、その一冊が、私の小さな書庫に大切に保存されている。奥田清人著『世界名作冒険物語 沙漠の決闘』（朋友社、昭和二十三年刊。百円）が、それである。

わずか136ページのこの本は、「湖上の美人」「アイヴァンホー」その他の歴史小説で名高い、サー・ウォルター・スコットの『タリズマン』（「護符」）を、少年少女向きに翻案したものである。解説もしっかりしていたが、何よりも日本語の文体がリズムカルですばらしく、たちまちのうちにとりこになってしまった。終戦直後の、旧制高校生のときである。題材は中世ヨーロッパの十字軍時代、イギリスのリチャード獅子心王と、対するイスラムの指導者サラディンとの、息を呑む丁々発止の物語であった。

この両雄が、腕くらべをしたという話が出てくる。まずリチャードが鉄の太い鎚矛（つねぼう）を、大剣でバンッと断き切ってみせる。するとサラディンはうすい絹のヴェールをふわりと空中に投げ上げ、それがゆらゆらとくるところを半月形の刀で受け止めると、ヴェールははらりと二つになって地上に落ちた。史実ではないが、そこには力の英（米）と技のイスラムの、文明論的な対比がみごとに描き出されており、今日のイラク戦争の実態を見る思いがする。

こうして私は中世ヨーロッパ史の世界に、足を踏み入れることになった。後になって入手したスコット『タリズマン』の原著序文には、こう記されている。「物語の大半は、フィクションである。しかしながら作品中の人物像は、真実である（1832.7.1、Abbotsford）」。その言や、よしである。

個人の履歴書をいくら見ても、その人の人物像は分からない。履歴書には客観的事実はあっても、歴史的真相は存在しないということである。歴史的真相は、分かりやすく語られねばならない。履歴書研究者にはなりたくない、いつも思っている。

二十世紀最高のフランス中世史家マルク・ブロックは云う。「パパ、歴史は何の役に立つの」と子どもに聞かれ、専門家にも小学生にも同じ口調で答えられる人が、本当の学者である（『歴史のための弁明ー歴史家の仕事』、讀井鉄男訳、岩波書店、1956年）。

これを究極の教えとして、ひとりポトポトと、歴史の道を歩みつづけている。



静岡文化芸術大学大学院 文化政策研究科長
深井 晃子
Fukai Akiko

文中に登場した図書

イタロ・カルヴィーノ著／米川良夫訳
木のぼり男爵
081/H19/111
973/C13

イタロ・カルヴィーノ著／米川良夫訳
**マルコ・ポーロの
見えない都市**
973/C13

マルグリット・ユルスナール著／多田智満子訳
ハドリアヌス帝の回想
958.78/Y95/1

ウンベルト・エーコ著／河島英昭訳
薔薇の名前
973/E19/1,2

イタロ・カルヴィーノ著
不在の騎士
973/C13

堀田善衛著
ゴヤ
723.36/G74/1-4

吉川英治著
親鸞
913.6/Y89/1-3

木のぼり男爵

この本を読んだのはいつだったのかはっきり覚えてはいませんが、私の手元にあるのが1981年版(1979年初版)ですから、きっとその頃だろうと思います。当時、毎年、年2回パリに行っていました。主な目的はパリ・コレ、いわゆるパリ・コレクションの取材のためでした。1980年代のパリ・コレは、作品を発表するデザイナーも現在のように多くはなく、スケジュールは比較的ゆったりとしていましたから、新しい美術展、あるいはオペラや演劇を見たり、本を探す、友人たちと会って食事をしたりするというのも、もう一つの重要な目的であり、楽しみでした。

研究に必要な本・文献は別として、それ以外の本は、知人友人との話がきっかけになって読むことも少なくありません。この本も、その頃ジェノバとパリで仕事をしていた以前からの友人の建築家と食事をしていた時に話題になったと思います。

「木のぼり男爵」という小説は、18世紀のイタリアを舞台にしています。ジェノバの男爵家の長子コジモ少年が、食事にしたエスカルゴ(カタツムリ)料理を食べるのを強要されたのに反抗して、木に登ります。そしてそのまま木の上での生活を始め、12才から65才までの生涯を終える、という荒唐無稽な物語です。彼は樹上で、生涯一歩も地上に下りないで生活します。当時の貴族の生活ですから、読書をし、狩りをし、散歩し、もちろん食事も眠るのも樹上です。そればかりではなくジェノバからスペインまでという大きな旅行もします。それも木を伝ってです。18世紀にはイタリアからスペインまで行くことができるほど、木が豊かに生えた森が茂っていたのでしょう。樹上で恋愛もします。のちには出版もし、有名なフランスの「百科全書」を編纂したデイドロやフランス皇帝ナポレオンに手紙も書きます。

1767年から始まるこの物語は、主人公の弟が物語の話し手となって進んでいきます。この間、1789年にフランスでは大革命が起こったわけですが、その事件についても樹上の生活者は知っています。死も木の上で迎えます。

私は歴史を題材にした物語が好きです。というのも、歴史というのは事実の断片がただ寄せ集められたに過ぎない無味乾燥なものかもしれませんが、それを、物語の作者が新たな物語として豊かな想像力と創造力で紡ぎなおして、現代に生きる私たちの問題として提起するからです。その作者の手並みに私が憧憬と共感を持つからでしょう。高校のときに読んだ吉川英治「親鸞」以来、堀田善衛「ゴヤ」、マルグリット・ユルスナール「ハドリアヌス帝の回想」、ウンベルト・エーコ「薔薇の名前」など、時間と空間が私の中で大きく広がっていきました。

特に「薔薇の名前」を読んだのは病気で長期入院中のときだったのですが、スリリングな物語の展開にその次がどうなるのか楽しみで、消灯の後も看護婦さんの目を盗んで夜遅くまで読みました。殺人事件から始まる推理小説ばりのこの本の中で、中心テーマとなっているのは、知の尊厳性です。こうした骨太のテーマに、皆さんも是非触れてみて欲しいと思います。

「木のぼり男爵」もそうした歴史小説の系列に置くこともできるのですが、それだけではなく、この本には痛烈な批判精神が満ちているのです。そもそも物語というのは架空のもですが、イタロ・カルヴィーノの空想の世界は、シュールレアリスティックで、独特の世界が展開します。地上からの不在をあくまでも貫く主人公は誰の目にも不条理で滑稽なのですが、この小説のそんな部分にも引きつけられたのです。

作者のカルヴィーノ(1923-1985)はイタリア・ネオレアリスマから出発し、亡くなった今も現代イタリアを代表する小説家、文学者です。他に「見えない都市」「不在の騎士」等多くの実験的な作品を書いています。そうした中でも「木のぼり男爵」は彼の代表作だと思います。

随分前に読んだ、しかし私の最も好きな本の一つでもあるこの本について今回書きたくなりました。それは、最近、私たちの生活の場・都市について考えることがあり、「木のぼり男爵」の原始と都会生活とが相向かい合っているような生活が、突飛であるにしても、理想のように思えたからです。そして彼の樹上での生活では、かし、ぶな、鈴懸けなど様々な木々や、様々な動物たちと出会いでもあります。失われていく自然がここにはまだあふれています。

図書館・情報センター蔵書検索システム(OPAC) 編

OPAC (Online Public Access Catalog) とは？

OPAC (Online Public Access Catalog)とはコンピュータで検索する図書館の蔵書目録データベースです。

本学では貴重書の一部を除き、すべてOPACでの蔵書検索が可能になっています。

図書館・情報センターには計6台(1階に2台、2階に4台)設置されています。また学内・学外HPから検索することも可能です。今回は、より効果的に使いこなすために役立つ情報をお伝えします。

OPAC基本画面

- 1 検索対象が「図書」のみの場合は「雑誌」と「巻号タイトル」のチェックを外してください。
- 2 キーワードに検索キーを入れて検索すると、「タイトル」「編著者名」「件名」をも検索して幅広い結果が得られます。正確なタイトル・編著者名・ISBNがわかっている時はそちらに入力してください。
- 3 入力されたキーワードに対して
“すべてを含む”(AND検索)
“いずれかを含む”(OR検索)
“いずれも含まない”(NOT検索)が選択できます。

検索

検索 検索条件クリア 検索項目 毎の入力欄を表示しない

1 2 3

検索対象: ☒ 図書 ☒ 雑誌 ☒ 巻号タイトル

キーワード: 芸術 文化 歴史 すべてを含む

● タイトル: すべてを含む

● 編著者名: すべてを含む

● 件名: すべてを含む

● 出版社:

● 出版年: から

● 和洋区分:

● 言語: 言語表

● 請求記号: 分類表

● ISBN:

● ISSN:

● 所在: すべて

● 資料ID:

検索のポイント

- 複数の項目に検索キーを入れて検索すると効果的です。
- 単語は分割すると効果的です。
例：文化政策→文化△政策 (△はスペース)
- “/” (スラッシュ) を用いることにより検索キーの前方・後方・完全一致が指定できます。
例：／文化 (「文化」で始まるものを検索。前方一致)
文化／ (「文化」で終わるものを検索。後方一致)
／文化／ (完全一致)
- 著者名等で正確な漢字がわからないときは、ひらがな(ヨミ)で入力するとうまく検索できます。

検索結果一覧

検索画面で条件を入力し検索を行うと一覧が表示されます。
書名をクリックすることで所在などの情報が表示されます。

また、この画面では「ブックマーク」に追加する資料を選択できます。
ブックマークに追加すると、後でまとめて書誌・所蔵情報を確認することができます。

- ④ 検索結果すべてを「ブックマーク」に追加します。
- ⑤ チェックを入れて「ブックマーク」に追加することができます。
- ⑥ 各資料の詳細は書名をクリックして表示させてください。

検索結果一覧

- 検索条件: KEYWORD1=(芸術 AND 文化 AND 歴史)
- 結果件数: 図書 16件 / 雑誌 0件 / 巻号タイトル 0件

④ 全てブックマーク追加

ブックマーク追加

図書 1-10 (16件)

⑤ 次へ

1. ☒ ⑥ グーテン1890-1920 : 芸術と社会 R ヴァイゼンベルガー編/池P
2. ☒ 近代芸術と文化 グリーンバーグ[著]/瀬木慎一訳 紀伊国屋書
3. ☐ 芸術 上原昭一, 王勇編 大修館書店, 1997<日中文化交流史叢
4. ☒ 芸術と文明 ケネス・クラーク[著]/河野徹訳 法政大学出版局, 1

図書目録情報画面

● 書誌情報のリンク

書誌情報では「シリーズ名」「著者情報」「件名」にリンクが張られている場合があります。
リンクをクリックするとそれらを含む資料が再検索されます。

- ⑦ リンクをクリックすると、それらを含む関係資料が再検索されます。
- ⑧ 所蔵情報は実際に資料を探したり、貸し出し中の資料に予約を付ける時に必要となってきます。メモ用紙に「所在」「請求記号」「資料ID」等控えてから探しましょう。(予約時も同様)

「請求記号」

本の背のラベルに記載されている記号です。

「資料ID」

バーコードに付いている番号です。資料ごとに違う番号が付与されているため、資料IDがわかればOPACで即座に資料を特定することができます。

「状況」

貸出中の場合はカウンターで予約をしてください。

図書目録情報

書誌

- 書名 近代芸術と文化
- 著者名 グリーンバーグ[著]/瀬木慎一訳
- 出版 東京: 紀伊国屋書店, 1965.2
- 形態 324p; 22cm
- 別書名 ⑦ Art and culture
- シリーズ名 芸術論叢書
- 著者情報 Greenberg, Clement, 1909-
瀬木, 慎一(1928-) (セギ, シンイチ)
- 分類 NDC8708.702.06.704
- 件名 ⑧ 美術 -- 歴史 -- 20世紀
- 番号 NCID:BN0416332X

所蔵

巻号	刷年	所在	請求記号	資料ID	状況(返却予定日)	備考
1		2階閲覧書架	702.07/G 82	01135501	貸出中 2005/03/17	

ブックマーク

- 9 タイトル・所在・請求記号・資料ID が一覧で表示され実際に本を探しに行く時に大変便利です。

●「所在」について

本学図書館・情報センターでの所蔵情報を表示します。

検索後実際に書架をあたる際の参考になる情報です。資料は各所在の請求記号順に並んでいます。

従って「所在」が図書館・情報センターのどの位置にあたるのかを把握しておかないと正確に資料を探し出すことができませんので、書架をあたる時は「所在」もメモに控えておきましょう。

OPAC の使い方ひとつで効果的に目的の資料を探し出せることがわかりました。

どんどん図書館・情報センターを活用してください。

※さらに詳しい使い方を知りたい時は「操作方法ヘルプ」を参考にしてください。

ブックマーク

ブックマーク削除

全ブックマーク削除

図書 3件

9

1. ☐ ウィーン1890-1920 : 芸術と社会 R. ヴァイゼンベルガー編/池内紀, 岡本和子訳. 岩波書店, 1995.

巻号	刷年	所在	請求記号	資料ID	備考
1		2階閲覧書架	702.346/W 15	01005962	

2. ☐ 近代芸術と文化 グリーンバーク[著]/瀬木慎一訳. 紀伊国屋書店, 1965(芸術論叢書).

巻号	刷年	所在	請求記号	資料ID	備考
1		2階閲覧書架	702.07/G 82	01135501	

1階の所在のもの

- 請求記号が000～499 までの図書
- 集密書架 (A・B・C)。(D-E,F-G,H)
- ※操作は各自で行ってください。
- 高坂文庫
- 貴重書庫 (要閲覧許可・貸出不可)

2階の所在のもの

- 請求記号が500～999 までの図書
- 文庫・新書
- 大型図書
- 参考図書 (貸出不可)
- AV 資料 (貸出不可)
- カウンター (CD-ROM 等:貸出不可)

知っていますか？こんなサービス

< 予約票 >

本学所蔵の資料で貸出中の場合は予約することができます。
予約票に必要事項を記入してください。(予約票はカウンターにあります)
資料の情報は事前にOPACを使って詳しく記入して下さい。

掲示やメールで取り置き連絡を受けたら早めにカウンターにて借りてください。
取り置き期限は掲示・連絡から一週間です。

※本学に所蔵のない資料や、所在が研究室のものはカウンターにてご相談下さい。
※予約サービスは本学学生及び教職員のみに限られます。

H.17		予 約 票		連 絡	
受付日付		2005年 月 日 ()			
学籍番号					
学科名		学年			
名 前					
書 名					
著 者					
出版社		出版年			
請求記号		資料ID			
連絡方法		メール			
予約処理		提示 []			
		受付者			

* カウンター取置き期間は一週間です。
連絡を受けましたら、早めに借りにきて下さい。

本の詳細な情報がわからない時はカウンターに相談してください。